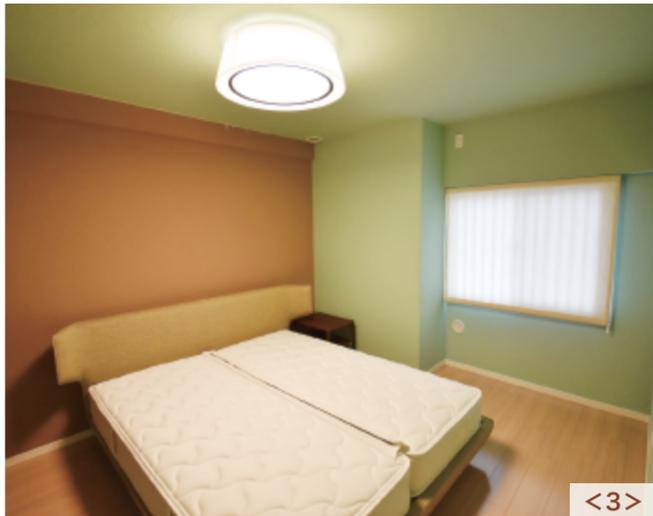




<2>



<3>



<1>

[右ページ写真]落ち着いたある深い茶色系の色彩で構成された寝室は、落ち着きを感じられる空間となっています。壁に対しシンメトリーに配置された絵やベッドレイアウトは、バランスのとれた視覚情報として脳に伝達され、心を安定させてくれます。

[写真1]淡いベージュのアクセントクロスをベッドヘッド側に用いた寝室。寝室の特性上、濃い色を全体的に用いることが多い為、暗いイメージになりがちな空間でも、アクセントで1面だけ明るい色を用いると、そのイメージを一変させることが可能です。

[写真2]ベッドの頭側に窓があると気の動きが大きくなり、落ち着いて睡眠をとるには不向きですが、レイアウト上やむを得ない場合はヘッドボードのあるベッドを選ぶことで対応することが可能です。[写真3]鮮やかなミントグリーンの寝室。お住まいになる方の体調などに合わせて「健康」をイメージさせる色彩を用いました。目覚めて最初に目に入ってくる色ですので、無意識的に色のイメージを脳の潜在意識にインプットさせることができます。[写真4]風水住宅でよく用いられるラベンダー色の寝室。安眠する為に適した色彩です。少レクールなイメージになりがちなので、ベッドリネンや照明器具などを明るいモノで揃えるとバランスが取れるでしょう。



Feng-Shui Gallery

special edition vol.51

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『寝室のアクセントカラー』



寝室に用いる色彩は、「癒し」と「落ち着き」を得られるような暖色系をベースに住む人に適したアクセントカラーを選定することが大切です。

良質な睡眠を得ることは、快適な日常生活を過ごす為に欠かすことのできない要素です。体に適した寝具はもちろんですが、良質な睡眠への導入を促す寝室環境や五感で感じられる快適な寝室空間がとても大切です。